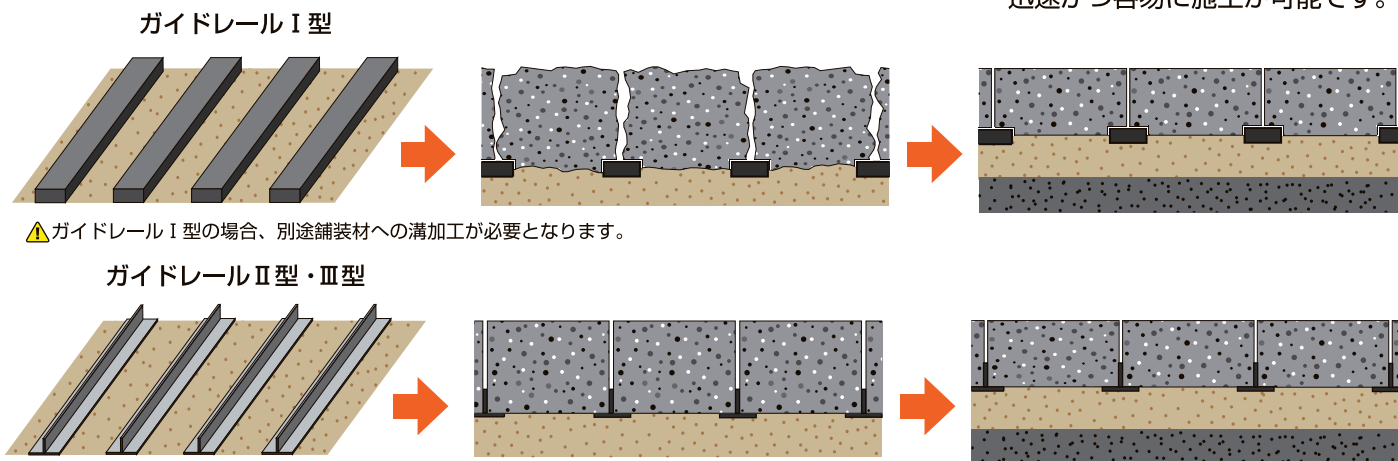


エヴォストーン工法とは？

自然石、インターロッキングブロック、コンクリート平板などの舗装材をプラスチック製の『ガイドレール』上に舗設することで施工の簡易化（舗装施工の作業品質の均一化）を図り、施工時間を短縮、養生期間も不要の新工法。さらに車両通行・乗り入れも可能にします。

エヴォストーン工法のコンセプト ～発生する路盤の誤差を最小に～

- ① 均し砂面にプラスチック製ガイドレールを設置。
- ② 舗石をガイドレールに敷設すると均一な施工面が確保されます。
- ③ 舗装面の段差を最小に抑えます。天然石、平板、レンガなどを迅速かつ容易に施工が可能です。



各ガイドレールの特徴

ガイドレールⅠ型「車道舗装型・リノベーション型」

- 【特徴】
- ・現在使用している舗石のモルタル等を剥がして再利用することが可能 → **資材費用の低減**
 - ・舗石に溝加工を施し、ガイドレールと設置することで不揃いな自然石でも高さを揃えることが可能 → **ガタガタ道の解消**
 - ・自然石の趣きやテクスチャーそのままに強度と安定性を保てます → **景観と安全性の両立**



【舗石の溝加工工程】 コンクリート平板、インターロッキングブロック、レンガ等への加工も可能。

移動式スライスマシンにて敷モルタルの切削、剥離

溝加工マシンにて舗石の底両側に直角の溝を加工

溝をレールに合わせて敷設



舗石1つ1つの上部から一定の寸法に規則的な溝をつけます。

ガイドレールⅡ型「凸レール・車両乗り入れおよび歩道型」

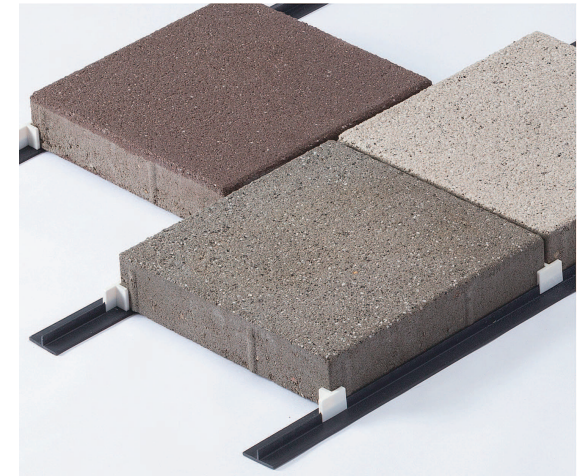
【特徴】

- ・ガイドレールを凸形状とすることで、舗石の加工が不要です。
- ・目地付きインターロッキングブロックにも対応。

ガイドレールⅢ型「凸レール・車両乗り入れおよび歩道型」

【特徴】

- ・Ⅱ型をベースにさらに強度をアップしました。
- ・目地幅は5mm
- ・大きな平板や厚物に対応します。



※Ⅱ型施工イメージ写真

エヴォストーン工法のメリット

- ・車両の通行に対応、車道への施工が可能です。
- ・施工面の平滑性を確保し、安全な舗装に貢献します。
- ・舗装の安定性に優れ、陥没やガタツキ、舗石の動き出しがありません。
- ・乾式工法で、雨水を地下に還元できます。
- ・小舗石湿式工法に比べ、大きなサイズの舗石で施工が可能で、意匠性の幅が広がります。
- ・施工後の復旧工事、メンテナンスも容易です。
- ・施工直後に交通解放が可能、養生期間も不要で現場負担を軽減します。

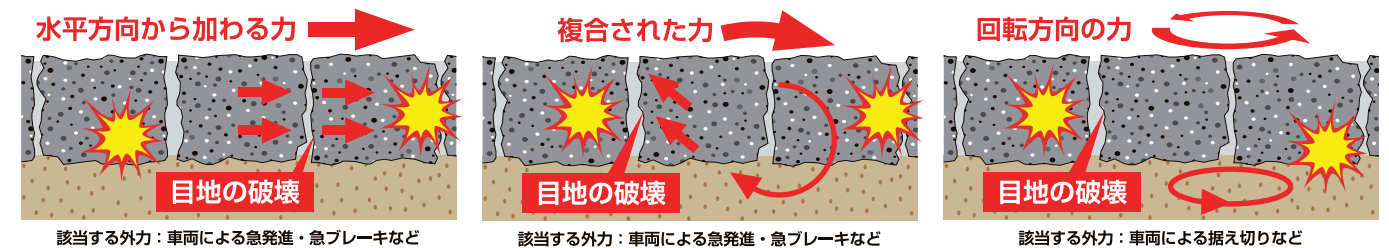
- ・施工中も転圧前の施工面を自由に使用できます。フォークリフトによるパレット単位での材料搬入も可能です。



ガイドレールの効果 ～舗装への負担を分散し、安定した舗装を実現～

「在来工法」の場合

自動車などによる「ハンドルの据え切り」や「急ブレーキ」「急発進」で舗装材には大きな負担がかかります。「在来工法」では舗装材・目地それぞれに、これらの負担がダイレクトに伝わり、目地が圧迫され舗装面の均一性や本来の性能を損なう原因となっています。



「エヴォストーン工法」の場合

エヴォストーン工法では、車両の通行や急ブレーキ・急発進、ハンドルの据え切りなどによる外部からの負担を「ガイドレール」、「スペーサー」で分散軽減。点ではなく面で力を受けることで、目地や構造、舗装材にストレスを与えません。

